

# 第3回 地域包括ケアシステム検討委員会 (第1層協議体)

令和5年2月14日

高梁市役所 3階大会議室

# 協議事項について

## I 事業報告

(元気なからだづくり隊、いきいき生活サポート事業、  
通所付添サポート事業、通所型サービスB、  
生活支援体制整備事業)

## II グループワーク

補足説明

協議 テーマ①「チラシの内容と活用について」

テーマ②「次年度に検討する事項について」

# I 事業報告（元気なからだづくり隊）

1、グループ登録数：20グループ

2、元気なからだづくり隊 交流会

日時：2月15日（水）10時～11時30分

場所：たいこまるプラザ（伊藤記念ホール）

テーマ：体力測定と運動の意義

ミニゲーム

グループワーク「私たちがもっと楽しむために」

申込者数：21人（8グループ）

3、この度は参加者同士の交流、情報交換に重点を置いた開催としている。また、新たな体操としてセラバンドを使ったものを紹介する予定。

継続的に取り組まれている方々は多様な目的を持っているため、支援の在り方も検討していきたい。

# I 事業報告（いきいき生活サポート事業）

## ○ボランティア養成講座

日程：10月13日（木）～11月17日（木）

会場：高梁総合文化会館 レクチャールーム

修了：15名（補講含む）

登録：いきいきサポーター登録者数 20名（R4 11名）

補講：ビデオ補講受講者：1名を含む



## ○活動状況（令和4年度）

利用者：2名

サポーター：3名

内容：風呂・トイレの掃除など



## ○広報

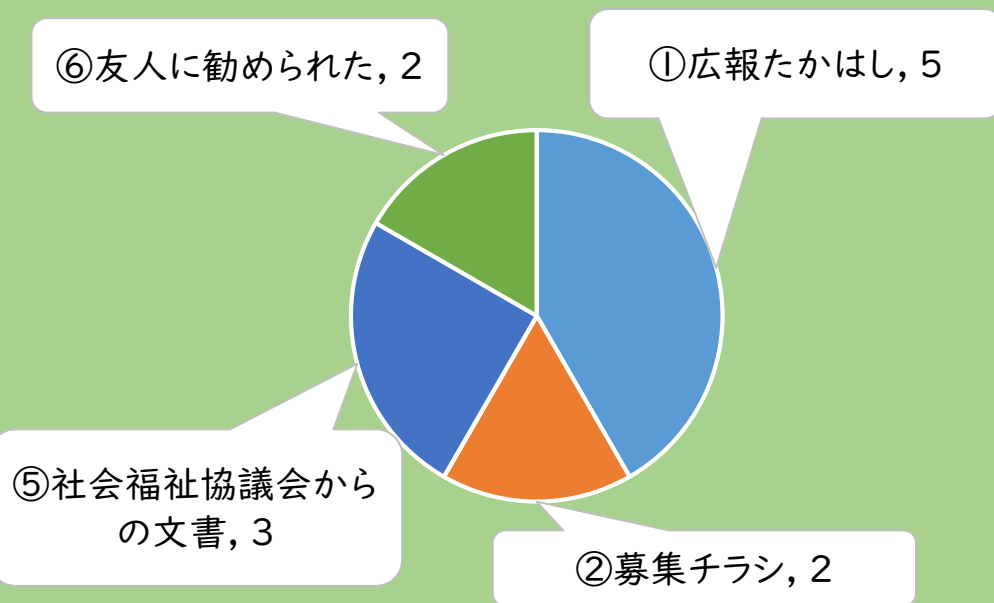
令和4年12月21日（水）在宅介護支援センター連絡会（在介職員 4名）

令和5年 1月23日（月）介護支援専門員研修会（ケアマネジャー 35名）

# I 事業報告（いきいき生活サポート事業）

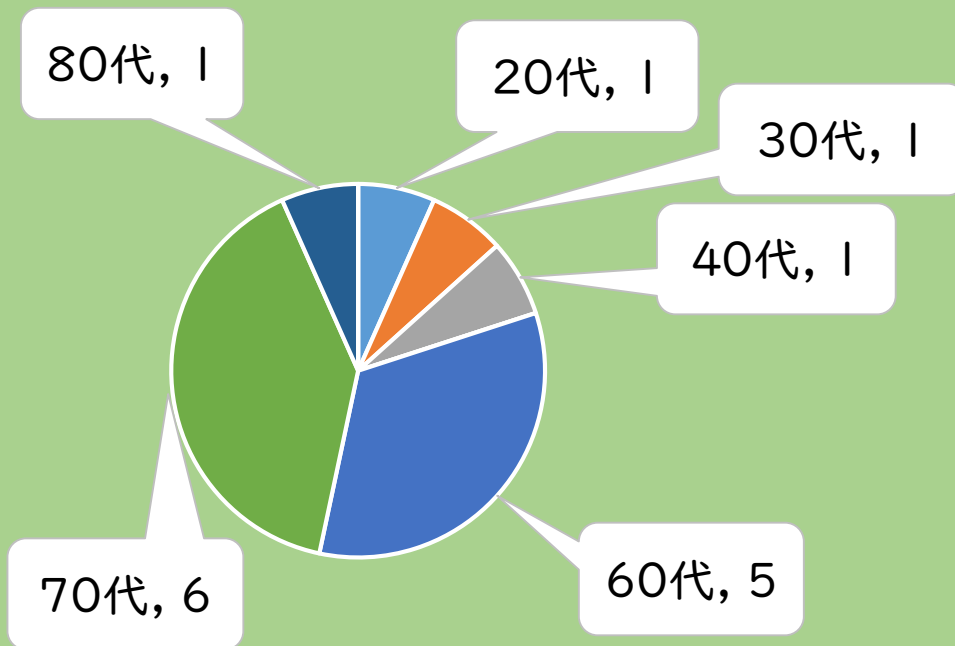
## 令和4年度 ボランティア養成講座

アンケート結果より  
「この講座は何で知りましたか？」



- ①広報たかはし
- ②募集チラシ
- ③市ホームページ
- ④行政放送(文字CM)
- ⑤社会福祉協議会からの文書
- ⑥友人に勧められた
- ⑦その他

修了者(年代別)



- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代
- 80代
- 90代

# I 事業報告（通所付添サポート事業）

## ○通所付添サポート事業 実施団体

- ・ 巨瀬地区：「 巨瀬町通いの場2020 」
- ・ 落合地区：「 あいあいサポート隊 」
- ・ 川上地区：「 かわかみお出かけ隊 」
- ・ 川面地区：「 ソルティール川面 」

## ○通所付添サポート事業開始予定地域

- ・ 松原地区：「 にこにこサポート 」
- ・ 有漢地区：開始に向けて準備中

## ○通所付添サポーター数：

令和4年度受講者： 46人（第1期、2期）

第3期養成者数： 23人（予定）

## ○サポーター交流会

令和5年3月13日 開催予定



松原地区での様子

# I 事業報告（通所型サービスB）

場所：旧有漢診療所あと

有漢地区社会福祉協議会により、開始に向けて準備中

通所型サービスB	
サービス内容	①住民主体による多様な支援（体操、運動、趣味活動、交流、会食）等 ②週1回以上、1日3時間以上の開催 ⇒コミュニティカフェに体操を加えるイメージ
対象者	○利用登録者の半分以上が要支援者1・2、事業対象者
運営費用	市町村の一部補助（助成）
基準	個人情報保護等の最低限の基準、専門職は不要
サービス提供者	ボランティア主体（有償、無償ボランティア）

# I 事業報告（生活支援体制整備事業）

## ○第1層協議体での会議（地域包括ケアシステム検討委員会）

- ・ 令和4年7月14日
- ・ 令和4年11月21日

## ○生活支援体制整備事業連絡会

第1層・第2層生活支援コーディネーターを含む関係者間の連絡会

- ・ 令和4年 4月25日、5月31日、7月5日、9月7日、10月5日、12月7日
- ・ 令和5年 3月8日（予定） 計7回

## ○地区支援ミーティングの開催

第2層生活支援コーディネーターの声掛けから、各地区（14地区）担当者レベルの情報交換を実施（令和5年度も継続予定）

- ・ 令和4年9月2日～10月13日



# I 事業報告（生活支援体制整備事業）

## ○第2層生活支援コーディネーターの活動紹介

《新たな取り組み》

◎生活支援コーディネーターを知ってもらおう!!

・市社協広報紙7月号への掲載

通いの場へセニアカーで来ている元気な高齢者をみんなに紹介してあげたいのだけど、どこに言えばいいかな…

◎地域でがんばっている人を知ってもらおう!!

・市社協広報紙9月号から連載開始

『コーディネーターが行く!!

～地域のええこと☆大発見にゃん～』



みんなの声を集める  
(困りごと等の把握)

買い物支援  
(移動販売車の検討)

移動支援  
(通所付添サポート事業)



# I 事業報告（生活支援体制整備事業）

**買い物難民!?** という言葉を地域で聞くようになった・・・

- ・今は大丈夫だけど、1～2年先が心配だ・・・
- ・徒歩なので、重たい物・大きな買い物の時に困る。
- ・移動販売車がきてくれたら・・・
- ・自分で買い物したい!!

## ○介護予防の拠点の充実

ミニデイサービス、ふれあいサロン、コミュニティカフェ・・・

## ○商福連携

通いの場 × 移動販売車

## ○買い物に関するアンケート調査を実施

- ・対象者：ミニデイサービス利用者
- ・調査人数：利用者183名
- ・調査結果：別紙、報告書のとおり



# I 事業報告（生活支援体制整備事業）

各地区でよく上がる課題、話題とコーディネーターの悩み

- ボランティアの担い手不足 → 高齢化、人口減少
- 移動手段の不足 → 通いの場、買い物、受診ため
- わたしら高齢者は地域の役割をいつまで担わないといけないのか。



地域住民

地域の課題を教えてもらえる関係づくりができてきた。  
けど2層協議体で公共交通の解決は難しい・・・  
他機関との連携の方法をもっと知りたい  
地域の方とのコミュニケーションをもっと取りたい  
通いの場を再開するにはどうしたらいいのか・・・  
類似したサービスがあり住民がわかりにくいのでは・・・



第2層コーディネーター

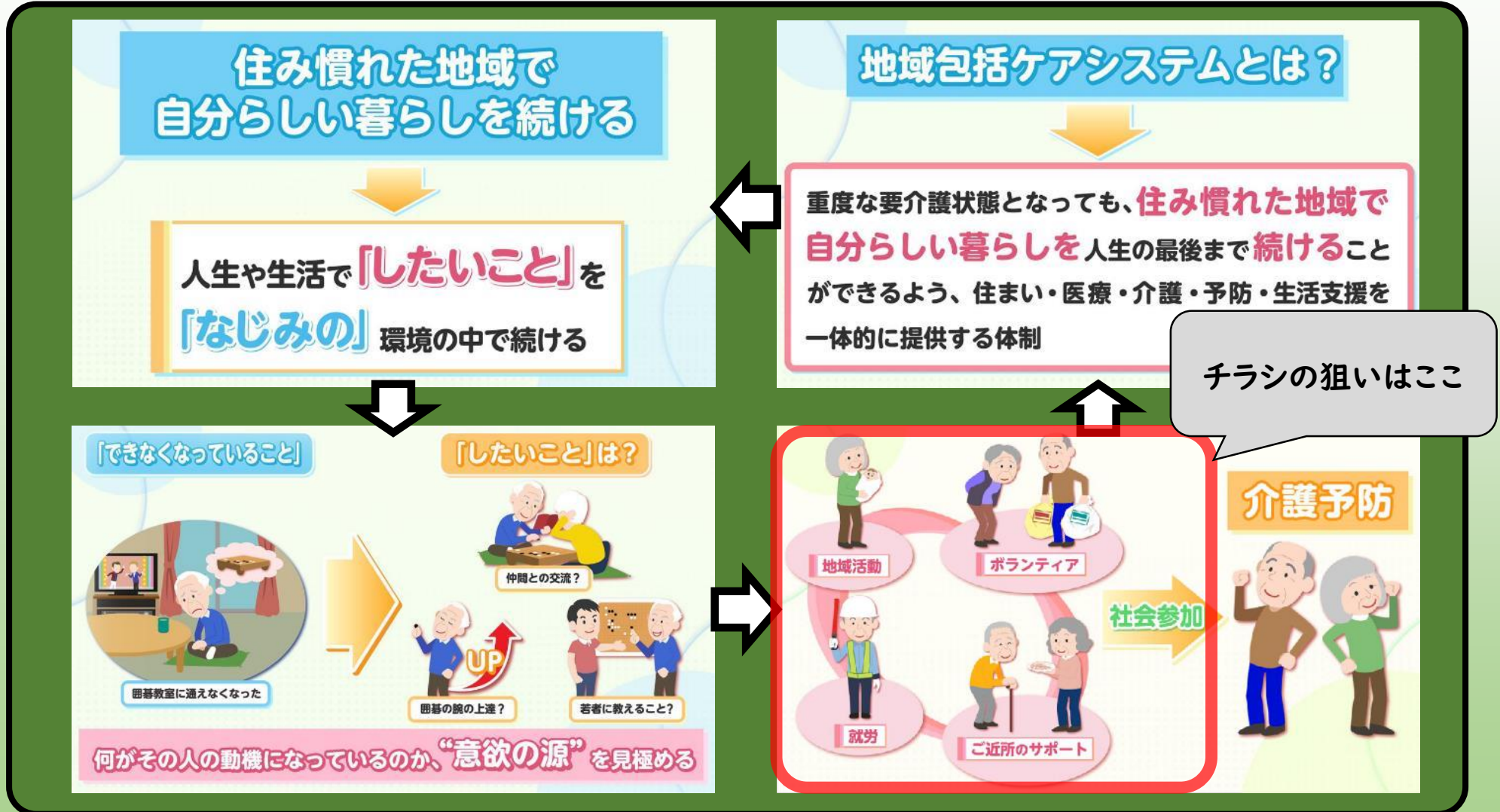
# 今日のチラシはたたき台





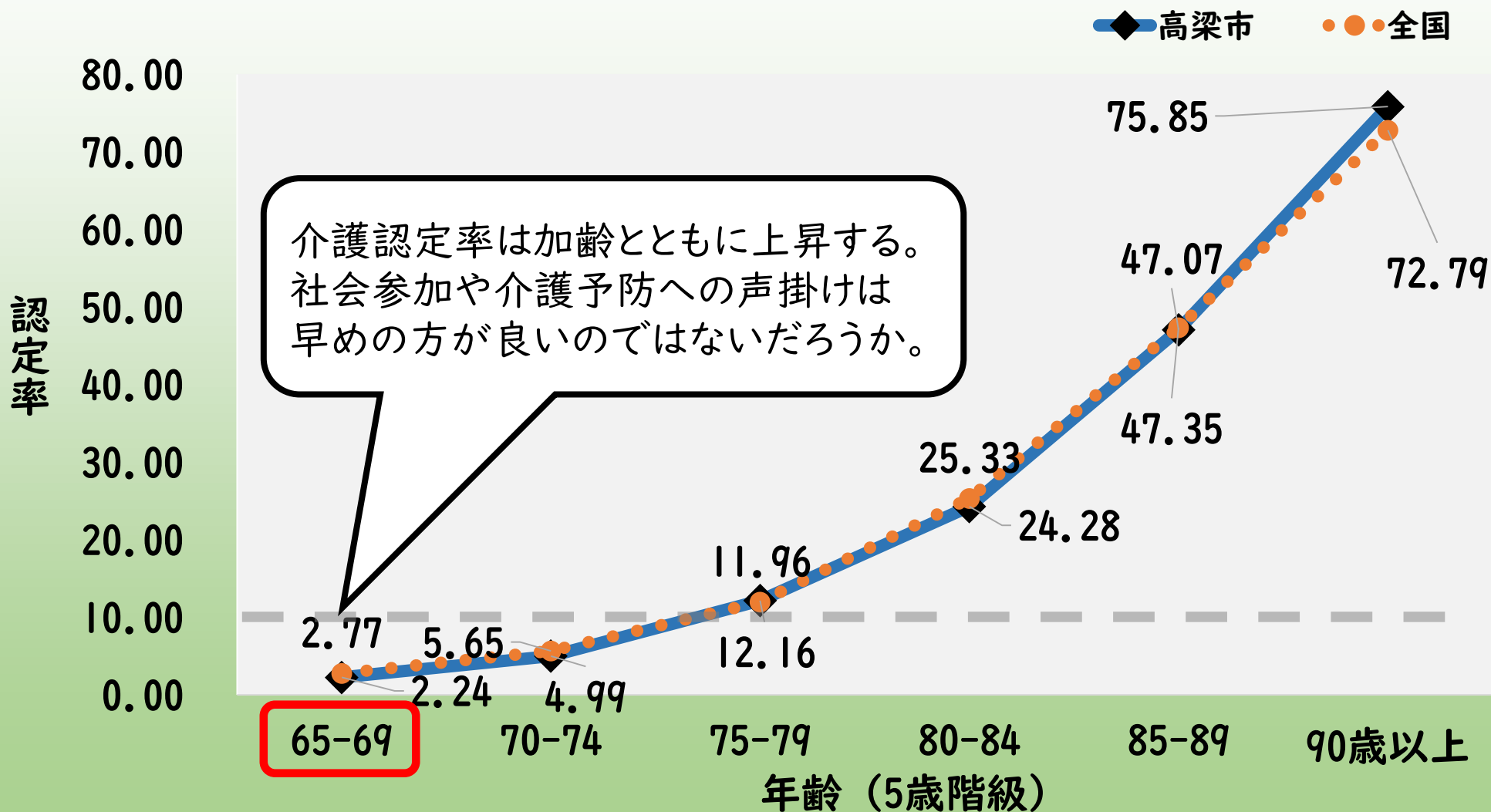
## II グループワーク(補足説明)

### 生活支援体制整備事業における協議体の目標



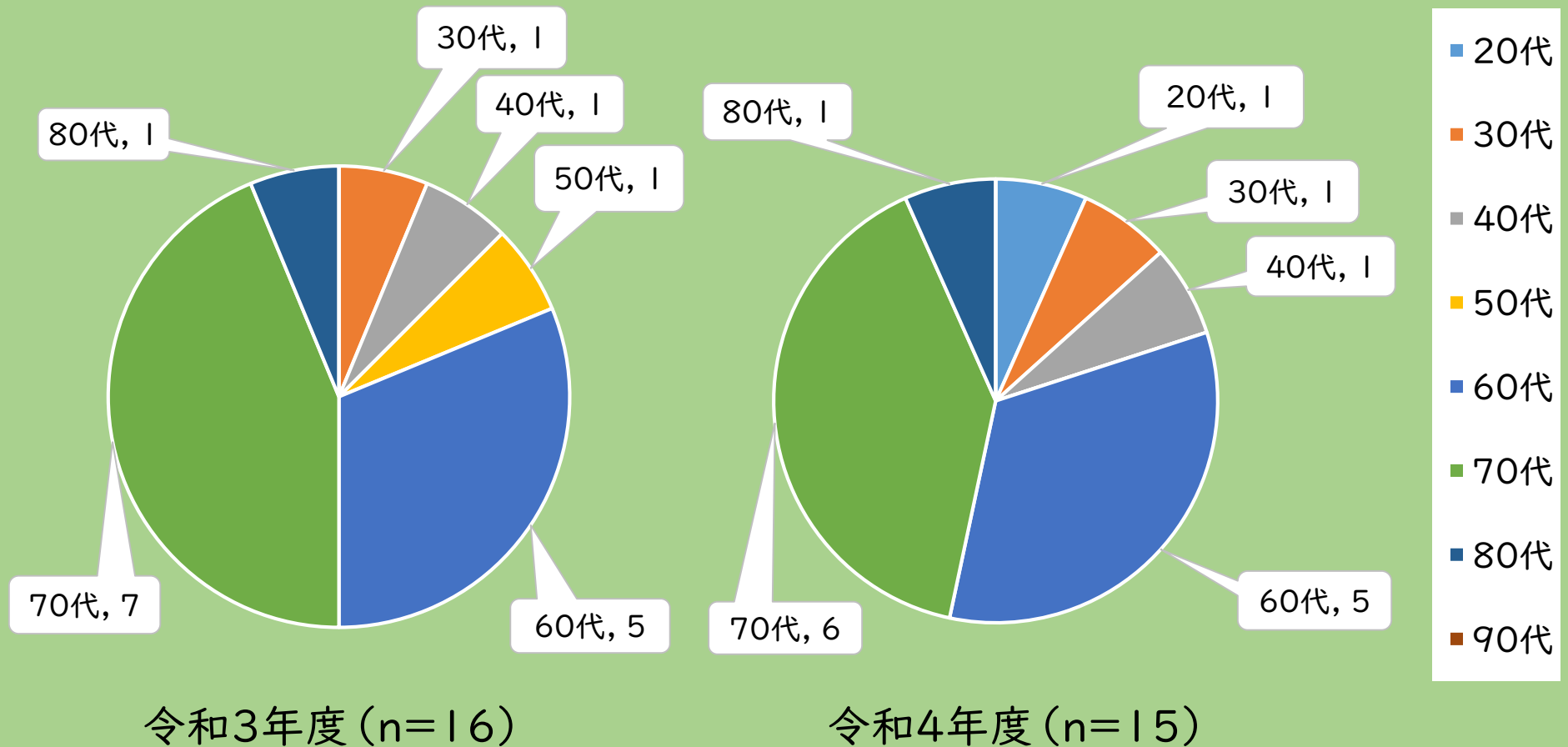
## Ⅱ グループワーク（補足説明）

### 年齢別の認定率（高梁市・全国） 令和4年10月



## Ⅱ グループワーク(補足説明)

### ボランティア養成講座 修了者(年代別)



## Ⅱ グループワーク(補足説明)

### チラシ作成と介護保険被保険者証(65歳)へのチラシ同封の目的

#### ○ボランティアの人手不足解消

ボランティアの減少・高齢化により継続や発展が難しい活動や団体と、気持ちがあり身体的にも時間的にも動ける人が繋がるきっかけとして

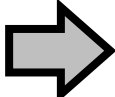
#### ○社会参加への促し

生涯元気であるために、要介護状態の前段であるフレイル予防と関連の深い社会参加に繋げるツールとして

#### ○65歳という年代の特性

定年退職の年齢は60歳から65歳に引き上げられつつあり、昔と比べて元気な方も多い。しかしながら、65歳から「高齢者」と定義づけられており介護保険の第1号被保険者となるなど、心境的に微妙な年代だと思われる。

そのため、「介護保険被保険者証を受け取る」=「虚弱者」と受け取られがちなイメージの否定を目的として

チラシ  「できる・したい」を「ありがとう、助かった」につなげたい



## Ⅱ グループワーク（協議）

記録（発表）者を決めてください  
（事務局以外の方でお願いします。）

進行は主任ケアマネジャーの方をお願いします。

**意見**を述べられる方は、その**理由**をグループ内で共有してください。



ピンピンコロリマン♪

### グループワーク

①協議30分－発表

休憩

②協議30分－発表

## Ⅱ グループワーク（協議）①

○チラシの内容（文言や構成などなど）の検討

○チラシの活用方法の検討

## Ⅱ グループワーク（協議）②

次年度に検討する事項について

（気になるワード：人手不足、生活の不足、買物難民、多世代交流、地域課題把握の仕組み、市民への発信の方法 など）

メモ

令和5年2月14日